

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所

第2回定時総会 資料



— 感情と思考の先へ —

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality; and
That service to humanity is the best work of life.

和訳

我々はかく信じる 真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり 人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities that empower young people to
create positive change.

和訳

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.

和訳

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる

J C 宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱領

われわれ J A Y C E E は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

関東地区宣言

わたしたちは
日本の礎として
あらゆる未来をみつめ
多様性溢れる仲間と共鳴し
新たな価値の創造により
新時代の旗手となることを誓う

いばらき J A Y C E E 宣言

いばらきの青年会議所は
多様な新世代（みらい）を見据え
信頼し合う仲間と共に成長し
1人ひとりが 革新の核となり
「持続可能ないばらき」に挑戦する

目 次

2025年度 第2回定時総会次第	2
第1号議案 2025年度 事業中間報告並びに補正予算（案）の件	3
(1) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長中間報告	
(2) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 委員会中間報告	
(3) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 補正予算（案）	
第2号議案 2026年度 監事選任（案）の件	12
第3号議案 2026年度 理事選任（案）の件	14
第4号議案 2026年度 組織図（案）の件	16
第5号議案 その他	18
報告事項	
(1) 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 出向者中間報告	19

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所

第2回 定時総会次第

2025年9月30日

理 事 長 大西 敦
主 管 40周年運営
委員会
場 所 牛久市エスカード
生涯学習センター
4階
エスカードホール

1. 開会宣言
2. 国歌斉唱
3. JCソング斉唱
4. JCIクリード唱和
5. JCIミッション唱和並びにJCIビジョン唱和
6. JC宣言朗読並びに綱領唱和
7. 関東地区宣言唱和
8. いばらきJAYCEE宣言唱和
9. 来訪JC紹介
10. 理事長挨拶
11. 直前理事長挨拶
12. 報告確認依頼事項
13. 議事

専 務 理 事 黒崎 雄太
理 事 長 大西 敦
直前理事長 美澤 貴人

1. 議長選出
2. 定足数並びに資料の確認
3. 議事録作成人並びに署名人の指名
4. 審議事項
 - 第1号議案 2025年度 事業中間報告並びに補正予算（案）の件
 - 第2号議案 2026年度 監事選任（案）の件
 - 第3号議案 2026年度 理事選任（案）の件
 - 第4号議案 2026年度 組織図（案）の件
 - 第5号議案 その他
14. 来訪JC挨拶
15. 牛久青年会議所シニアクラブ世話人代表挨拶
16. 祝電披露
17. 新入会員認承認伝達式
18. 監事講評
19. 閉会宣言

監 事 井上 健
監 事 篠木 達也

議案提案書

議案名 2025年度 事業中間報告並びに補正予算（案）

- （1） 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長中間報告
- （2） 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 委員会中間報告
- （3） 2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 補正予算（案）

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長中間報告

第40代 理事長 大西 敦

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所は、「衝動—感情と思考の先へ—」のスローガンのもと、運動を展開してまいりました。本年度は、創立40周年という節目の年でもあり、県内各地友好LOMの皆様、関係各所団体や行政の皆様、そして親愛なる牛久青年会議所シニアクラブ先輩諸兄姉の皆様から、多大なるご協力を頂き、日々運動を展開させていただいていることに深く感謝申し上げます。

1月は、西原委員長をはじめとする40周年運営委員会の主管のもと、第1回定時総会を開催いたしました。多くの方にご臨席賜り厳粛な雰囲気の中、開催をさせていただくことができました。会場が例年と変更となり、また、例会会場と懇親会会場が異なる会場となったことから、運営が難しかった点もあったと思いますが、メンバーが一丸となり、スムーズに運営をすることができました。また、連日各LOMの総会にメンバー全員で40周年のPR廻りをさせていただくという過酷な状況の中、1月例会では昨年に引き続き100%例会を達成することができました。最高の形で1年間のスタートを切ることができ、深く感謝しております。引き続きこの勢いを続けていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2月は、佐藤委員長をはじめとする40周年実行委員会の主管のもと、「ソーシャルメディアラボ～SNSを学んで未来につなぐ～」を開催いたしました。講師に茨城県内で活躍されているインフルエンサーの新妻幹生様をお迎えし、SNSの発信の仕方の基礎から、単に見せ方の工夫だけではなく、コンセプトやあり方についての貴重な学びの機会を得ることができました。2025年度は、初めて牛久JCの公式インスタグラムも開設し、運用を開始しております。今後の広報においてSNSの活用は必要不可欠ですので、引き続き効果的な発信に努めてまいりましょう。

3月は、藤枝委員長をはじめとする40周年拡大連携委員会の主管のもと、牛久運動公園にて「What's 牛久JC?～ヘルシーボールで体感しよう～」を開催いたしました。10名を超えるオブザーバーの方に、ご参加いただき、ヘルシーボールを通して懇親を深めながら、JCの三信条である友情・奉仕・修練を体感していただきました。また、メンバーの実体験をもとにしたトークセッションを行い、オブザーバーの方に興味を持っていただくとともに、実際の入会に繋げる大きな効果上げることができました。今後も目標人数である10名拡大を現実的に達成可能な目標として据えたうえで、多くのメンバーの拡大に努めてまいりましょう。

4月は、遠藤事務局長・佐藤財政局長をはじめとする事務局・財政局の主管のもと、「私たちでつなげるビジョン～未来を描くために今を知ろう～」を開催いたしました。40周年をきっかけに長期ビジョンの策定が求めているところ、これまでのビジョンの検証とともに、今後の牛久JCの在り方について、メンバー全員で率直に意見交換をする機会を得ることができました。4月例会にて吸い上げた意見をベースに、現在、より具体的かつ検証可能性の高い長期ビジョンの策定に向けた協議を進めさせていただいております。そして、本例会において2回目の100%例会を達成することができました。私の見ていないところで、メンバーが率先して動いていただいていることに改めて深く感謝いたします。

5月は、40周年実行委員会の主管のもと、わんぱく相撲牛久場所を開催いたしました。牛久市内でのわんぱく相撲の開催は28年ぶりとなり、東洋大学附属牛久中学校・高等学校相撲部の皆様、有限会社佐藤新聞舗様のご協力を賜り、令和の時代にアップデートしたかたちで、盛況のうちに開催を

させていただくことができました。入賞した子どもたちは、茨城ブロック大会に出場し、さらには小学校6年生のうち2名が全国大会出場を果たすという快挙を成し遂げました。子どもたちの真剣勝負をとおして、今後の牛久市において夢を描くためのストーリーの礎を築くことができたと考えております。引き続き40周年記念事業の成功に邁進してまいりましょう。

6月は、40周年運営委員会の主管のもと、一般社団法人 牛久青年会議所 創立40周年記念式典並びに祝賀会を開催いたしました。多くの来賓の方々、近隣友好LOMの皆様そして歴代理事長をはじめとする牛久青年会議所シニアクラブの方々にご参集いただき、40周年の節目の式典を牛久青年会議所らしく、厳粛にかつ盛大に開催することができました。特に、歴代理事長紹介の際には、ほぼ全員の歴代理事長の皆様にご登壇を頂き、牛久青年会議所の歴史とその団結力の強さを改めて感じさせていただくことができました。祝賀会においても、メンバーのみならず、牛久青年会議所シニアクラブの多くの皆様から多大なるご支援ご協力をいただき、参加者の皆様に大変喜んでいただくことができました。この貴重な経験を50周年に向けたさらなる発展に繋げてまいりましょう。

結びとなりますが、40周年という節目の年に理事長という大役を仰せつかり、未熟ながらこれまで走り続けてまいりました。諸先輩方には及ばない点も多くあるかとは思いますが、私にとって今の牛久青年会議所のメンバーは最高のメンバーであり、いくら感謝してもし尽くせません。しかし、いや、だからこそ、今の牛久青年会議所のメンバーはこれからさらに伸びていく、もっともっと力強く成長していくそんなポテンシャルを秘めたメンバーばかりであります。本年度も折り返しを迎え、残り期間で私が理事長としてできることは限られてまいりますが、感情と思考のその先へ、最後まで全力で、40周年の「衝動」を巻き越していくことをお約束申し上げ、本年度の中間報告とさせていただきます。

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 委員会中間報告 委員会中間報告

40周年拡大連携委員会

委員長 藤枝 一翔

40周年拡大連携委員会では3月例会を主管させていただきました。

3月例会では、「What's 牛久JC?～ヘルシーボールで体感しよう～」を開催いたしました。多くのオブザーバーの方をお招きし、牛久市発祥のスポーツであるヘルシーボールにJCの三信条を混ぜた特別ルールを設けて、ヘルシーボールを楽しみながら参加していただきました。

オブザーバーの方々に青年会議所について知っていただき、パネルディスカッションにて青年会議所がどのような活動を行なっているのか、また青年会議所の歴史について学んでいただく機会を提供させていただきました。

そして、青年会議所の事を知っていただき、その理念に共感していただき会員拡大につなげる事ができました。近年、多くのメンバーがご卒業されて会員数の減少が進んでいる中、40周年拡大連携委員会は本年度10人の会員拡大を目標に掲げております。私たちの、青年会議所の活動や歴史に興味を持っていただき、その理念や良さを感じてもらい、理念共感型の新たな仲間作りにつなげてまいります。

委員長として至らない部分ばかりですが、委員会メンバーに支えてもらい例会、会員拡大を進めていく事ができました。この勢いで目標達成と事業を成功へと導けるよう邁進してまいります。

委員会中間報告

40周年実行委員会

委員長 佐藤 晃輔

40周年実行委員会では、2月例会と5月例会を主管させていただきました。そして8月例会を主管させていただきます。

2月例会では、「ソーシャルメディアラボ ～SNSを学んで未来につなぐ～」と題し、茨城県出身のインフルエンサー・新妻幹生氏を講師としてお招きしました。目を引く投稿の工夫や動画編集の基本、Instagramの活用法などを学び、実際の発信に活かせる内容となりました。SNSの可能性を体感し、会員それぞれが情報発信の意識を高めるきっかけとなった例会でした。

5月例会では、「わんぱく相撲 牛久場所」と題し、牛久青年会議所では実に28年ぶりとなる開催を実現いたしました。子どもたちが真剣に取り組む姿から、挑戦する勇気や勝敗を通じた成長を感じられる場となり、大きな感動を呼びました。なお、参加選手2名が全国大会へ出場するという成果も収めることができました。

8月例会では、創立40周年記念事業として「一般社団法人 牛久青年会議所 創立40周年記念 大相撲牛久場所」に協力させていただきます。市民の皆様に夢や希望、そして笑顔があふれる機会となるよう、委員会一丸となって準備を進めております。

今後の活動におきましても、40周年という節目にふさわしい運動を展開し、地域に必要とされる存在であり続けられるよう努めてまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

委員会中間報告

40周年運営委員会

委員長 西原 里枝

40周年運営委員会では、1月例会と6月例会を主管させていただきました。

1月の定時総会では、皆様のご協力をいただき、滞りなく厳粛な雰囲気の中、予定しておりました全議案が可決承認されました。

6月の記念式典・祝賀会では、たくさんの方にお越しいただき、40年の歴史を感じていただき、50周年に向けて歩みを進められる例会となりました。

また、40周年運営委員会といたしまして理事会の設営、例会でのセレモニー運営、会員名簿の作成、各スケジュールの調整管理、情報の記録、備品の管理、SNSの更新等、事前準備を心掛け、各委員会と連携を図り、組織が円滑に運営できるように努めてまいりました。残り3ヶ月、受け手のワクワク感や衝動を呼び起こせる魅力的な広報活動ができるように努めてまいります。

結びに、40周年運営委員会一丸となり組織の運営に関わる立場として、自分の役割はもちろんその重要性をしっかりと理解し、邁進してまいります。

委員会中間報告

事務局・財政局

局長 遠藤 真広

事務局・財政局では、4月例会を主管させていただきました。

長期ビジョンは、メンバー一人ひとりが真剣に向き合っていくべきものであると考え、100%例会の実現を目標に掲げて取り組んだ結果、100%例会を達成することができました。

例会を通じて、メンバー全員が主体的に「これまでの10年」と「これからの10年」について考える貴重な機会となったと感じております。現在は、4月例会で出されたメンバーの意見を反映すべく、長期ビジョン（案）として再度上程させていただいております。

また、事務局・財政局では、12月例会「卒業式」も主管させていただきます。

これまで一般社団法人 牛久青年会議所を支えてこられた卒業生の皆様に、「一般社団法人 牛久青年会議所で活動できて本当に良かった」と感じていただけるよう、感謝の意を込めた、40周年のフィナーレにふさわしい盛大な卒業式を開催いたします。

結びに、事務局・財政局一同、今後も一般社団法人 牛久青年会議所の更なる発展に貢献してまいりますので、引き続き皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 補正予算（案）

作成者 財政局長 佐藤 昌平
適用期間 2025年8月19日から2025年12月31日
(単位: 円)

【第1部：本会計】		2025年度予算	2025年度補正予算(案)	増減	摘要
科目					
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
① 入会金収入					
正会員入会金収入		200,000	200,000	0	入会予定者10名×20,000円
特別会員入会金収入		280,000	280,000	0	特別会員予定者7名×40,000円
入会金収入計		480,000	480,000	0	
② 会費収入					
正会員年会費収入		2,025,000	2,053,000	28,000	31名(正会員21名+入会予定者10名)
特別会員年会費収入		0	0	0	
会費収入計		2,025,000	2,053,000	28,000	
③ 事業収入					
委員会事業会計収入					
登録料収入		0	0	0	
広告料収入		0	0	0	
販売収入		0	0	0	
雑収入		0	0	0	
④ 雑収入					
受取利息収入		0	0	0	
その他雑収入		0	0	0	
シニアクラブ支援金		200,000	200,000	0	
LOM祝い金		0	150,000	150,000	40周年式典祝い金 土浦JC5万円、日立JC5万円 竜ヶ崎JC5万円
茨城ブロック協議会祝い金		669,000	556,000	△ 113,000	茨城県内青年会議所周年祝い金 1,000円×556名
⑤ 他会計からの繰入金収入		3,534,806	3,534,806	0	
特別会計からの繰入金収入		3,534,806	3,534,806	0	
事業活動収入計		6,908,806	6,973,806	65,000	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出					
事業費支出					
未来拡大会議(2024)		0	0	0	
次世代育成委員会(2024)		0	0	0	
総務広報委員会(2024)		0	0	0	
40周年準備委員会(2024)		0	0	0	
卒業生(2024)		0	0	0	
事務局・財政局(2024)		0	0	0	
アカデミーメンバー(2024)		0	0	0	
40周年拡大連携委員会(2025)		200,000	150,000	△ 50,000	3月例会、11月例会
40周年実行委員会(2025)		3,300,000	3,300,000	0	2月例会、5月例会、8月例会
40周年運営委員会(2025)		2,300,000	2,100,000	△ 200,000	1月例会、6月例会、9月例会
卒業生(2025)		300,000	300,000	0	10月例会
事務局・財政局(2025)		100,000	350,000	250,000	4月例会、12月例会
アカデミーメンバー(2025)		100,000	100,000	0	7月例会
事業予備費支出					
事業費支出計		6,300,000	6,300,000	0	
② 管理費支出					
通信運搬費支出					
電話代支出		80,000	80,000	0	NTT(2024.12~2025.11)電報代省く、プロバイダ(OCN)
運搬代支出		18,000	18,000	0	0切手代他
消耗品支出		214,460	212,584	△ 1,876	新入会員バッチ・プレート代(10名)、卒業生横断幕、卒業生記念品(6名)、理事長経験者記念品×2
コピー用紙・インク代支出		3,500	3,500	0	0
印刷製本費支出		204,000	204,000	0	特別会員用の手帳代 154名(特別会員数148名+24年度卒業生6名)×1,000円、手帳デザイン費50,000円
業務委託支出		36,675	36,675	0	ドメイン料金7,500円(2025.1~12)、役員変更登記料金29,175円
渉外費・支援金等準備資金		83,736	83,736	0	慶弔費40,000円、電報代23,736円(総会・周年)、支援金等準備資金、京都会議並びに全国大会祝儀(土浦:5,000円、竜ヶ崎:5,000円、つくば:5,000円、下館:5,000円)×1
雑支出		758	758	0	変更登記時源泉徴収復興特別所得税
支払手数料支出		5,000	5,000	0	0
水道光熱費支出		45,000	45,000	0	0
地代家賃支出		389,368	389,368	0	1ヵ月31,472円×12ヵ月、イス、テーブル代11,704円
管理費支出計		1,080,497	1,078,621	△ 1,876	
③ 負担金支出					
日本JC会費(基本額)		30,000	30,000	0	0
日本JC会費(付加金)		140,000	142,500	2,500	年当初の正会員数が正会員1名から50名までは30,000円、51名からは25名増すごとに15,000円加算
JCI1会費		69,316	69,316	0	26名×5,000円+5名×2,500円
国際協力資金		56,575	56,575	0	031名×2,236円
機関誌購読料(We Believe)		76,750	77,750	1,000	031名×1,825円
地区協議会会費		35,000	36,000	1,000	31名分
ブロック協議会会費		95,000	98,000	3,000	21名×1,000円+10,000円(基本金)+5名×1,000円
ブロック協議会負担金		63,000	63,000	0	21名×3,000円+20,000円(基本金)+5名×3,000円
ブロック協議会会議費		40,000	40,000	0	21名×3,000円
ブロック大会登録料		0	0	0	0
日本JC負担金		0	0	0	0
サマーコンファレンス負担金		0	0	0	0
ブロック周年祝い金		63,000	63,000	0	21名×(3LOM×1,000円)茨城南、笠間、牛久
LOM周年祝い金		0	0	0	0
京都会議登録料		8,000	8,000	0	0
常磐線東京駅乗り入れ推進協議会 会費		10,000	10,000	0	0
公開討論会実行委員会協賛金		0	0	0	0
牛久市国際交流協会会費		10,000	10,000	0	0
負担金支出計		696,641	704,141	7,500	
④ 他会計への繰入金支出					
40周年記念事業資金への繰入金支出		0	0	0	【第2部：40周年記念事業準備資金会計】
災害義援金への繰り入れ支出		0	0	0	【第3部：災害義援金支払会計】
設備・什器資金への繰入金支出		0	0	0	【第4部：設備・什器会計】
他会計への繰入金支出計		0	0	0	
事業活動支出計		8,077,138	8,082,762	5,624	
事業活動収支差額		△ 1,168,332	△ 1,108,956	59,376	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
特定資産取得支出					
周年事業積立資産取得支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 予備費支出					
当期支出計		8,077,138	8,082,762	5,624	
当期収支差額		△ 1,168,332	△ 1,108,956	59,376	
前期繰越収支差額		2,890,815	2,890,815	0	
次期繰越収支差額		1,722,483	1,781,859	59,376	

第1号議案

【第2部：40周年記念事業準備資金会計】				(単位：円)
科目	2025年度予算	2025年度補正予算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1. 繰入金収入				
① 一般会計繰入金収入	0	0	0	
② 特別会計繰入金収入	0	0	0	
繰入金収入計	0	0	0	
2. 資産運用収入				
① 受取利息収入	0	0	0	
② 雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	0	0	0	
当期収入計 (A)	0	0	0	
II 支出の部				
1. 繰入金支出				
① 一般会計繰入金支出				
② 特別会計繰入金支出				
40周年記念事業資金への繰入金支出	3,534,806	3,534,806	0	
2. 特別支出				
特別支出	0	0	0	
繰入金支出計	0	0	0	
当期支出計 (B)	3,534,806	3,534,806	0	
当期収支差額 (A) - (B)	△ 3,534,806	△ 3,534,806	0	
前期繰越収支差額	3,534,806	3,534,806	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

【第3部：災害義援金支払会計】				(単位：円)
科目	2025年度予算(案)	2025年度補正予算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1. 繰入金収入				
① 一般会計繰入金収入	0	0	0	
② 特別会計繰入金収入	0	0	0	
繰入金収入計	0	0	0	
2. 資産運用収入				
① 受取利息収入	0	97	97	2月17日利息受取
② 雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	0	97	97	
当期収入計 (A)	0	97	97	
II 支出の部				
1. 繰入金支出				
① 一般会計繰入金支出	0	0	0	
② 特別会計繰入金支出	0	0	0	
2. 義援金支出				
義援金支出	0	31,100	31,100	大船渡山林火災義援金30,000円+窓口手数料1,100円
当期支出計 (B)	0	31,100	31,100	
当期収支差額 (A) - (B)	0	△ 31,003	△ 31,003	
前期繰越収支差額	209,259	209,259	0	
次期繰越収支差額	209,259	178,256	△ 31,003	

【第4部：設備・什器会計】				(単位：円)
科目	2025年度予算(案)	2025年度補正予算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1. 繰入金収入				
① 一般会計繰入金収入	0	0	0	
② 特別会計繰入金収入	0	0	0	
繰入金収入計	0	0	0	
2. 資産運用収入				
① 受取利息収入	0	0	0	
② 雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	0	0	0	
当期収入計 (A)	0	0	0	
II 支出の部				
1. 繰入金支出				
① 一般会計繰入金支出	0	0	0	
② 特別会計繰入金支出	0	0	0	
当期支出計 (B)	0	0	0	
当期収支差額 (A) - (B)	0	0	0	
前期繰越収支差額	58,846	58,846	0	
次期繰越収支差額	58,846	58,846	0	

2025年度 一般社団法人牛久青年会議所 総会計正味財産増減計算書(案)

作成者 財政局長 佐藤 昌平
適用期間 2025年1月1日から2025年12月31日
(単位: 円)

科目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取会費	2,533,000
正会員会費	2,253,000
入会金	200,000
年会費	2,053,000
特別会員入会金	280,000
特別会員年会費	0
② 雑収入	756,000
受取利息	0
その他雑収入	0
シニアクラブ支援金	200,000
茨城ブロック協議会周年祝い金	556,000
③ 他会計からの繰入金	3,534,806
特別会計(40周年記念事業準備資金からの繰入金)	3,534,806
特別会計(災害義援金からの繰入金)	31,100
経常収益計	6,823,806
(2) 経常費用	
① 事業費	6,300,000
40周年拡大連携委員会(2025)	150,000
40周年実行委員会(2025)	3,300,000
40周年運営委員会(2025)	2,100,000
卒業者(2025)	300,000
事務局・財政局(2025)	350,000
アカデミーメンバー(2025)	100,000
② 管理費	1,078,621
通信運搬費	
電話代	80,000
運搬代	18,000
消耗品費	212,584
コピー用紙・インク代	3,500
図書・研修費	0
印刷製本費	204,000
業務委託費	36,675
渉外費	83,736
雑費	758
支払手数料	5,000
水道光熱費	45,000
地代家賃費	389,368
③ 負担金	704,141
日本JC負担金(基本額)	30,000
日本JC負担金(付加金)	142,500
JCI負担金	69,316
国際協力資金	56,575
機関誌購読料(We Believe)	77,750
地区協議会負担金	36,000
ブロック協議会負担金	98,000
ブロック協議会ブロック大会負担金	63,000
ブロック協議会会議負担金	40,000
日本JC負担金(出向分)	0
国際アカデミー負担金	0
ブロック周年祝い負担金	63,000
LOM周年祝い負担金	0
京都会議負担金	8,000
常磐線東京駅乗り入れ推進協議会負担金	10,000
公開討論会実行委員会協賛金	0
牛久市国際交流協会負担金	10,000
④ 他会計への繰入金支出	0
40周年記念事業資金への繰入金支出	0
設備・什器資金への繰入金支出	0
ブロック大会準備金への繰入金支出	0
経常費用計	8,082,762
当期経常増減額	△ 1,258,956
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,258,956
一般正味財産期首残高	2,890,815
一般正味財産期末残高	1,631,859
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	△ 3,534,806
指定正味財産期首残高	3,534,806
指定正味財産期末残高	0
III 正味財産期末残高	1,631,859

議案提案書

議案名 2026年度 監事選任（案）

役員及び理事候補者名簿作成に関する規定第4章第11条により選出された者

監 事 美澤 貴人

監 事 吉田 貴一

議案提案書

議案名 2026年度 理事選任（案）

役員及び理事候補者名簿作成に関する規定第4章第11条により選出された者

理 事 黒崎 雄太

役員及び理事候補者名簿作成に関する規定第5章第14条により選出された者

理 事 倉田 奈緒子

理 事 椎名 理恵

(投票数順)

役員及び理事候補者名簿作成に関する規定第6章第24条により選出された者

理 事 伊藤 裕一

理 事 久原 康太

理 事 佐藤 晃輔

理 事 佐藤 昌平

理 事 藤枝 一翔

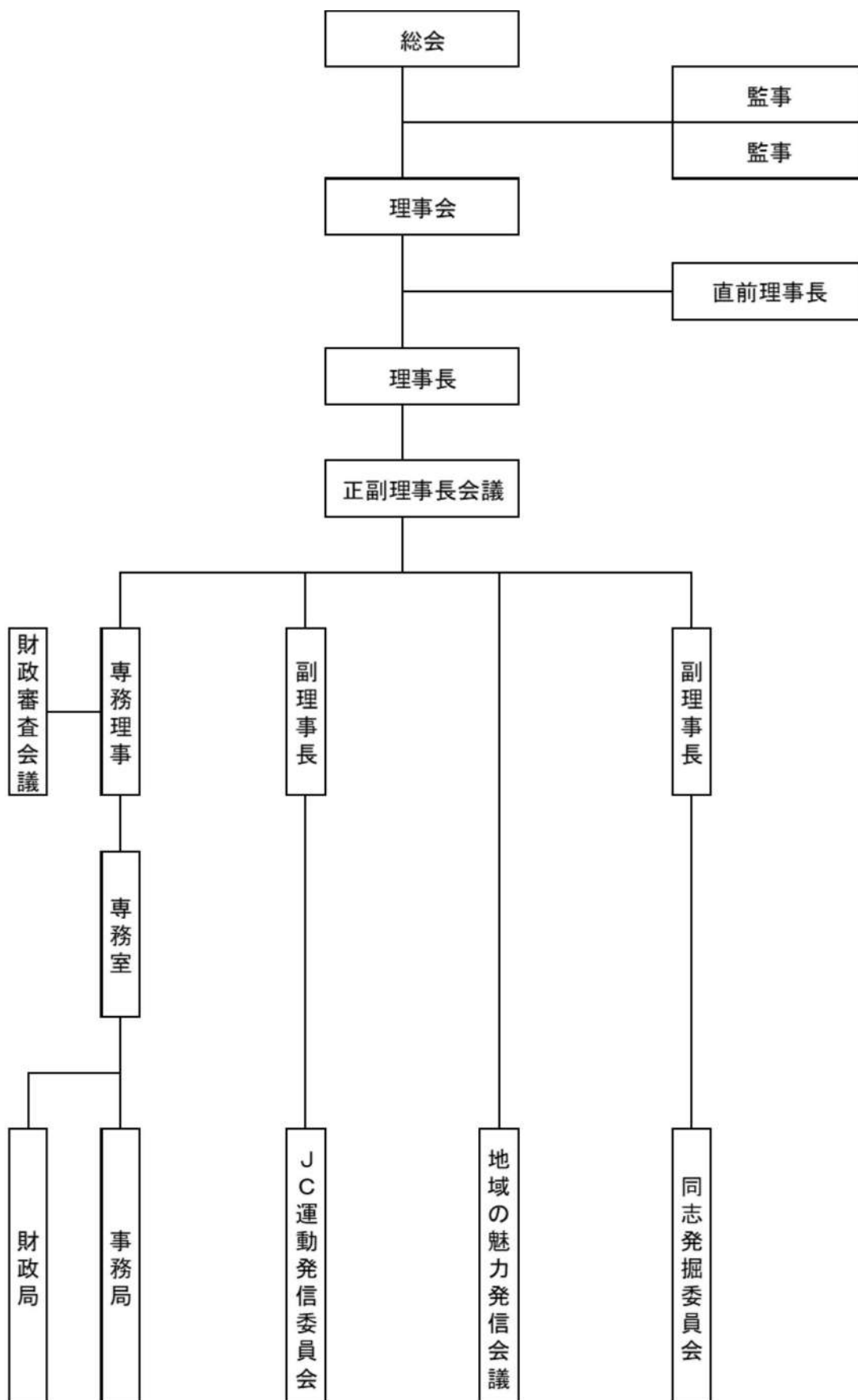
理 事 渡部 晃平

(入会認証順)

議案提案書

議案名 2026年度 組織図（案）

2026年度 一般社団法人 牛久青年会議所 組織図（案）



議案提案書

議案名 その他

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 出向者中間報告

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区協議会 出向者中間報告

副会長 兼 茨城ブロック協議会 会長代理

篠木 達也

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区協議会に副会長 兼 茨城ブロック協議会 会長代理として出向させていただいております。

当初は公益社団法人 日本青年会議所 関東地区協議会への出向はありませんでしたが、副会長という役職は、茨城ブロック協議会において会長代理となったことにより、日本本会の承認によって出向させていただくことになりました。

公益社団法人 日本青年会議所の理事会へのオブザーブもそうですが、関東地区協議会のスケールメリットはより広範囲な学びや出会いにあると思っています。各ブロック協議会内には様々な課題がありますが、そのような中でも、青年会議所として組織運営や人材育成には同じような悩みがあり、その分、様々な視点や角度からの課題解決方法を学ばせていただいております。

結びとなりますが、出向の機会をいただきました、第40代 理事長 大西 敦君を始めとするメンバー、そして、いつもセクレタリー等でお世話になっている茨城ブロック協議会の大高運営専務、磯崎事務局長をはじめ、同期役員全員に感謝申し上げ、今後の一般社団法人 牛久青年会議所に活かしていけるように努めてまいります。

以上、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向者中間報告

次世代リーダー育成委員会 兼 組織運営支援委員会

担当副会長 兼 会長代理 篠木 達也

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会に次世代リーダー育成委員会 兼 組織運営支援委員会担当副会長 兼 会長代理として出向させていただいております。

私は一般社団法人 牛久青年会議所が40周年を迎えるにあたり、茨城ブロック協議会との繋がりを強化することで、多くの動員や成長の機会を提供したいと思い出向させていただきました。当初は副会長としての出向でしたが、会長職が不在となり、現在は会長代理を兼任して出向させていただいております。昨年度、選挙管理委員会を務めさせていただいた責任はもちろん、誰かのために行動できる青年会議所だからこそ、通常では経験できないような機会をいただけていると思っております。そのような状況の中、青年会議所は最終年度ではありますが、新たに多くの学びや出会いをいただきました。また、出向を支援していただいている第40代 理事長 大西 敦君をはじめといたします一般社団法人 牛久青年会議所のメンバーの皆様、そして会長代理をご支援いただいている第73代 理事長 加治 光教君をはじめといたします公益社団法人 水戸青年会議所のメンバーの皆様には非常に感謝しております。

そして、その中で改めて感じたのは、一般社団法人 牛久青年会議所で良かったということです。厳しい会議、誰かのために本気で行動できるメンバーの存在、40周年という節目の中、今までの歴史で培ってきた一般社団法人 牛久青年会議所としてのプライドや誇りを学ぶことができ、本当に良かったです。まだまだ学べる機会や、今後の一般社団法人 牛久青年会議所を牽引していくメンバーに対して、様々な道を残せるよう、そして、青年会議所には多くの機会が存在していることをお伝えすることが私の担いであると思っています。やり切るまでは辛く、大変な日々を過ごすことは今までにも経験してきましたが、改めて、今まで学んだ経験や気持ちの強さ、そして、同じ時間を過ごしている大切な仲間を信じ、最後まで担いを全うしたいと思い、自分なりの覚悟を持って挑んでまいります。

結びとなりますが、このような素晴らしい出向の機会を与えていただいた第40代 大西 敦 理事長を始めとするメンバーに感謝申し上げ、一緒に出向している伊藤VC、倉田VCをはじめ多くの出向メンバーと共に学び、今後の一般社団法人 牛久青年会議所に活かしていけるように努めてまいります。

以上、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向者中間報告

次世代リーダー育成委員会

副委員長 伊藤 裕一

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 次世代リーダー育成委員会に副委員長として出向させていただいております。

3月にはBe the Leader! 茨城リーダーズ合宿を開催し次年度以降の理事長候補者として活躍できる人財を育てることを目的とし水戸の地で、一泊二日の合宿を開催、担当VCとして組織を牽引するために必要な能力と覚悟を持ち合わせたリーダーの育成に関わらせていただきました。さらに4月にはアカデミー育成合宿Stand up Academyを開催、議案構築補助や運営を行いました。合宿ではJCプログラムや筑波山登山、模擬理事会などの設えによりJAYCEEとしての当事者意識を高めることで、各LOMで意欲的にJC運動に取り組む人財の育成につなげることができたと思います。さらに、【Start up JAYCEE】アカデミー育成塾ではエリアAファシリテーター並びにエリアDアドバイザーとして各エリアのアカデミーが構築していく事業にアドバイスをさせていただいています。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えて頂きました一般社団法人 牛久青年会議所メンバーの皆様には感謝をするとともに、今後LOMでもこの経験を生かして行きたいと思います。

以上、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向者中間報告

次世代リーダー育成委員会

委員 椎名 理恵

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 次世代リーダー育成委員会に委員として出向させていただいております。

茨城ブロック協議会には、何度か出向させていただきましたが、毎回他LOMメンバーの方にはモチベーションを高める良い刺激をいただいております。6月には次世代リーダー育成委員会と組織運営支援委員会で緊張感のある合同開催の全体委員会を行いました。出向のこの機会を通して、自身のLOMに還元できたらと思います。

今回の出向により、県内各地の志を同じくするメンバーの方々と深く関わることで、一般社団法人牛久青年会議所の今後に繋がる関係性を築くことができたらと思います。

本年度も後半になりましたが、最後まで精一杯取り組んでいくことをお約束し、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会
出向者中間報告

次世代リーダー育成委員会

委員 嶋村 慎太郎

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 次世代リーダー育成委員会に委員として出向させていただいております。

出向に際し、多くの学びや経験を得られる貴重な機会をいただいておりますが、私自身の時間の都合により、十分に活動へ関わることができていない現状に心苦しさを感じております。

今後は一つひとつの機会を大切に、少しでも多くの経験を積むことで、自身の成長に繋げるとともに、学びをLOMに還元できるよう努力してまいります。

このような成長の機会をいただきましたことに深く感謝申し上げ、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会
出向者中間報告

次世代リーダー育成委員会

委員 藤枝 一翔

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 次世代リーダー育成委員会に委員として出向させていただいております。

時間が作れずあまり参加することができませんでしたが、出向者として県内の多くのメンバーと新たな出会いをいただきました。

活動を通じ新たな気づきを得たことなど、貴重な経験が多くありました。

出向の機会を与えていただいたLOMの皆様、共に出向しているメンバーの皆様、そしてご協力をいただきました全ての皆様に感謝を申し上げ、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向者中間報告

次世代リーダー育成委員会

委員 遠藤 真広

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 次世代リーダー育成委員会に、委員として出向させていただいております。

他LOMとの交流を通じて、多くの学びと気づきを得ることができました。団体は異なれど、同じ志を持った方々が茨城県内に多数いらっしゃることを知り、大変嬉しく思っております。

このような貴重な出向の機会を最大限に活かし、自己の成長はもちろんのこと、活動を通じて得た経験や学びを、一般社団法人 牛久青年会議所へ還元できるよう、今後も一層精進してまいります。

以上、中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向者中間報告

次世代リーダー育成委員会

委員 大吉 正幸

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 次世代リーダー育成委員会に委員として出向させていただいております。

出向させていただいておりますがなかなか参加する時間を作ることができませんでした。

委員会が牛久の地で行われた時に参加させていただき、他LOMのメンバーと交流することで視野が広がり出向の楽しさや学びの場があることを実感することができました。

以上、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会
出向者中間報告

組織運営支援委員会

副委員長 倉田 奈緒子

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 組織運営支援委員会に副委員長として出向させていただいております。

大西理事長を始めいたしますLOMの皆様には、このような貴重な学びと経験の機会をいただき、心より御礼申し上げます。

組織運営支援委員会では、各会員会議所の組織統一、基盤の強化、拡大意識向上の支援、各諸大会の参加推進の支援を軸に活動しており、副委員長として委員長のサポートをさせていただきました。

1月には各会員会議所にヒアリングを行い、それぞれの悩みをまとめ課題解決につながるような支援を提案させていただきながら表にまとめたり、実際に会員会議所の例会に参加し、拡大に向けた力添えすることができ普段はできない経験をさせていただきました。

委員会メンバーの皆様に支えられながら、牛久JC以外の県内各LOMの皆様と交流を深め、新たな仲間ができたことが、今回の出向による大きな財産だと考えております。

大変なこともあります、ただの負担ととらえるか、チャンスと捉えるかは、当人の考え方次第だと思いますので、引き続き貴重な出向の機会を充実させたいと思います。

以上、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会
出向者中間報告

組織運営支援委員会

委員 久原 康太

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 組織運営支援育成委員会に委員として出向させていただいております。

しかしながら、私自身の時間の調整がつかず満足のいく活動ができませんでした。委員会には参加できませんでしたが、ブロック事業に参加しスケールメリットを感じることができました。

せっかく出向させていただいているので、今後この機会を無駄にせず何ができるかを考え過ぎていきたいと思います。

最後に、このような機会を与えていただいたLOMの皆様には感謝を申し上げ、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向者中間報告

組織運営支援委員会

委員 石島 恵輔

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 組織運営支援委員会に委員として出向させていただいております。

茨城県各地から集まった他LOMのメンバーと交流でき、JC活動の楽しさを再度実感させていただいております。

ただ、現状としてなかなか参加できてはおりませんので、後半の活動では調整をして少しでも参加してLOMに還元できるように努めてまいります。

最後に、このような貴重な経験を与えていただきました一般社団法人 牛久青年会議所のメンバーの皆様に感謝を申し上げ、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向者中間報告

組織運営支援委員会

委員 出津 慶一

本年度、公益財団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 組織運営支援委員会に委員として出向させていただいております。

本活動も半分を終えましたが様々な経験をさせていただき、多くの出会いをさせていただきました。個人的にも最後のブロック活動でもありますので個人としても一般社団法人 牛久青年会議所のメンバーとしても、残りの活動に全力で参加して有意義な時間を過ごすべきだと思っております。

また先日、会長代理に任命された篠木達也君をメンバーの皆さんと盛り上げていくことも私たちの使命だと感じております。

以上、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向者中間報告

組織運営支援委員会

委員 西原 里枝

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 組織運営支援委員会に委員として出向させていただいております。

牛久の地で委員会が行われた時に参加させていただき、懇親会まで参加させていただいた時には、他LOMのメンバーと交流をすることで出向の楽しさを知ることができました。この貴重な機会を無駄にしないためにもできる限り会議に出席し、役割を果たせるようにしていきたいと思います。そしてその中で多くの学びを得て、自己の成長そしてLOMの成長に繋げていければと思っております。

以上、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向者中間報告

組織運営支援委員会

委員 軽部 知可良

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 組織運営支援委員会に委員として出向させていただいております。

本委員会では、坂入委員長のもとで、茨城県内全23LOMの皆様の支援や、次世代リーダー育成委員会との合同事業である、アカデミーを対象とした、「【Start up JAYCEE】持続可能な組織拡大塾」を行っております。

両委員会においては、一般社団法人 牛久青年会議所からも多くのメンバーが出向しており、各々が精力的に活動されています。また、他のLOMから集まっている委員の皆様も、委員会活動に尽力されており、その姿に刺激を受け、吸収できるものはなんでもしていきたいと感じました。アカデミー塾自体に参加させていただいている身として、このような事業を展開することは、非常に大変だと実感しております。

出向させていただいた身としては大変恐縮ですが、なかなか参加できておりませんでした。本委員会としての活動も残りわずかとなりましたので、できる限り学びを見つけ、自己の成長とともに、牛久の地へ貢献できるものを持ち帰りたいと感じております。

以上、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向者中間報告

事務局

次長 芳村 麻都香

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 事務局に次長として出向させていただいております。

2022年度にも同じく事務局次長としての出向経験がありますが、前回と大きく異なる点は篠木副会長のセクレタリーの担いがあることです。ただ、私の子供がまだ小さいため、事務局の皆様のご配慮やLOMの出向者の皆様のご協力を賜りながら任務を遂行しております。

本年度の事務局では、各エリア会議、正副財政局長会議、役員会議、そして会員会議所会議の設営や諸会議に上程される議案のチェック、議事録の作成がメインです。LOMにおいても茨城ブロック協議会においても事務局には表立った動きは多くありませんが、組織が円滑に運営されるよう日々黙々と活動しております。

今回の出向では前回得たものをさらにブラッシュアップし、LOMに還元できるよう邁進してまいります。また、残りの諸会議が完遂されるよう気を引き締め、茨城ブロック協議会ひいては一般社団法人 牛久青年会議所のために激務をこなしておられる篠木会長代理のサポートを出向者の皆様と共に行なっていくことをお約束し、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向者中間報告

財政局

局員 佐藤 昌平

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 財政局に局員として出向させていただいております。

残念ながら会議の場に出席することはかなわず、成長の機会を逸することとなってしまいました。しかし委員会から上程される議案書を財政面、コンプライアンス面でチェックするという財政局の職制から、ブロック事業の議案書にリモート形式ではありましたが目を通す貴重な経験を得ることができました。ブロック協議会の大きなスケールメリットで行われる事業の議案書を読む機会はLOMの中だけで活動してはなかなか経験できることではありません。

また私自身、議案書から得られるものを少しでも読み取りLOMに還元するという意識の下、局員としての担いに微力ながら携わらせていただきました。

本年度も残すところ僅かとなってしまいました、LOMへ更なる知見を持ち帰るために必ず会議の場に出席できるよう努めてまいります。

以上、出向者中間報告とさせていただきます。